

②道徳部会「仮説2について」

～学びを日常生活に広げる学習活動の工夫～

道徳の時間と行事・各教科の学習で子どもの心を計画的に指導することにより、よりよい生き方に向かって主体的に考え判断して行動する子どもが育つだろう。

①行事との関連を図った道徳掲示の工夫「ハートのかがや木」



年に2回、運動会と学習発表会の後に、保護者・児童・教職員でハートのかがや木を書きます。継続的に行っている取組ですが、子どもたちも保護者からのかがや木を楽しみにしています。子どもたちが道徳の時間と関連付けて考えられるようにするには、学習や行事等に取り組む際の事前、事後指導が大切になってきます。なお、かがや木は卒業まで過去のもの全て研修部で保管し、卒業の際にまとめて返却します。

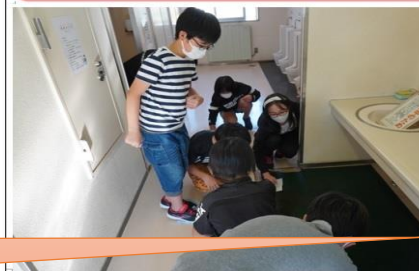
②きらりと光る心を紹介する写真掲示「きらり光」

学校行事や授業中はもちろん、日々のささやかな活動における子どもたちの様子に目を向け、子どもたちの経験や発見を価値づける

題名 写真の様子を表す一言

説明 優しい心に関わる説明

水がこぼれている！



3かいトイレの水もれを6年生が男女きょうかしてふいていました。次につかう人が気持ちよくつかえるようにと考えて、きれいにしているところにすてきな心が光っているね！

安心して登校できるように



ドキドキの1年生に、朝、くつばこや教室の場所を教えてあげていた6年生。みんなのおかげで1年生も安心して学校に来ることができます。ありがとう6年生！

伝統を引き継いで



声援が復活した今年の運動会。伝統の応援、赤組「ドンドンチャ」白組「エッソッサ」。今年の6年生も伝統を引き継ぎ、迫力満点の応援合戦をくり広げていました。

③総合単元ユニット

◎道徳の時間を要とした全教育活動における道徳教育を意識して指導する

→総合単元ユニットでは、各教科や特別活動など、全教育活動を通して育まれる豊かな心や道徳性を、道徳の時間において補充・深化・統合する

手立てとして

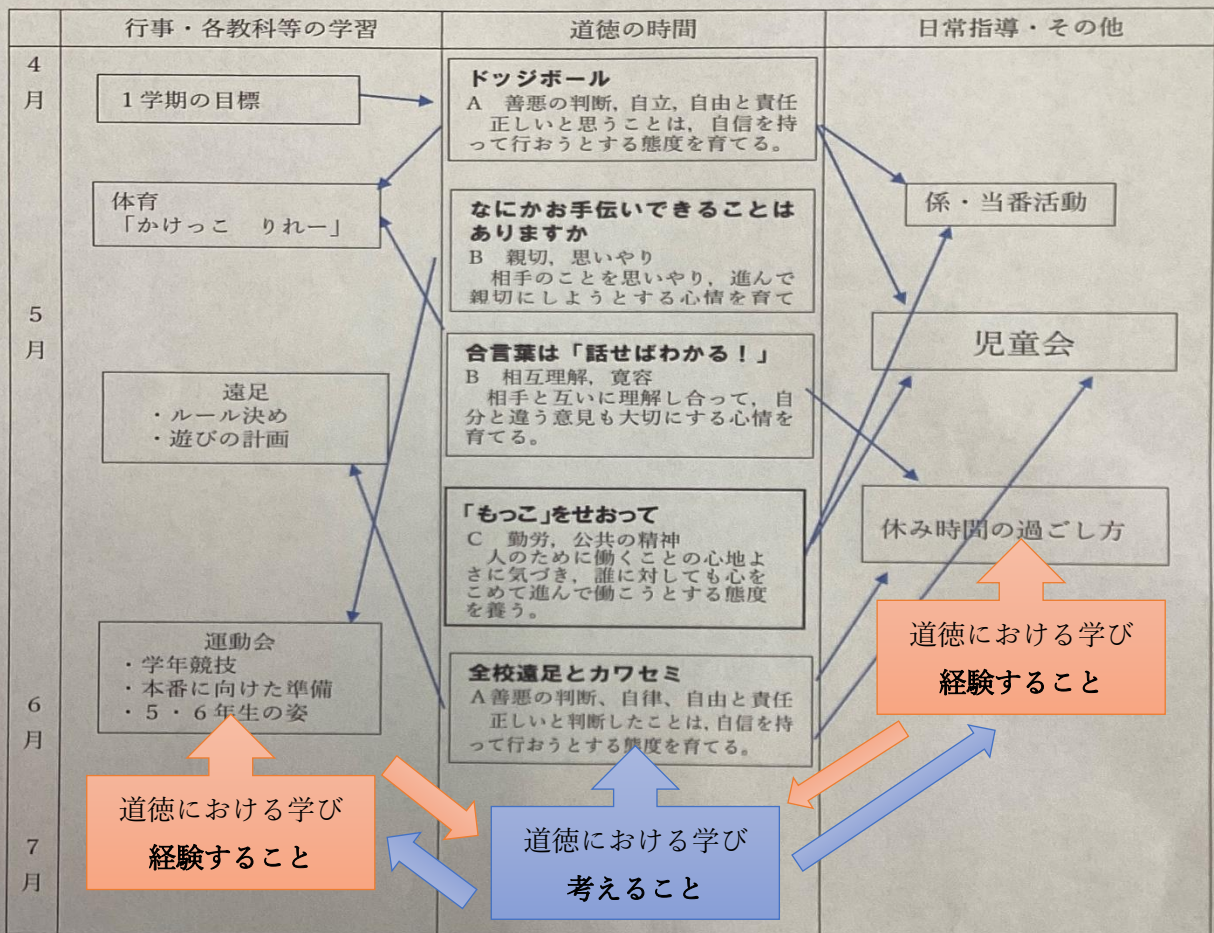
「行事・各教科・日常指導・その他」と関連を図って指導をする

大事なのは、**各学級の実態**。実態に対し、教師が「どのような児童を育てたいか」ということ軸に、総合単元ユニットを作成し、日常の意識につなげる（学期ごとに作成する・指導案に添付する）

- ・主 題～道徳教育を通して目指すところ（実態をもとに、教師の思いを分かりやすく簡潔に）
- ・ねらい～何のためにこの総合単元ユニットを組んでいるのかを詳しく
- ・育てたい心～ねらい達成のために、道徳教育を通じて育てたい心

1学期総合単元ユニット

主題	高学年としてあたりまえのことができる4年生に
ねらい	高学年として、学校や学級 みんなが気持ちよく過ごすために大切なことについて、自分で考え、判断し、進んで行おうとする態度を養う。
育てたい心	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場になって考え、行動しようとする心を育む ・自分から進んであいさつをする心を育む ・進んで働こうとする心を育む



交流について～1学期（5月1日研修日 学級経営案の交流とセットで）
2学期（公開研究会の指導案に添付し、紙面交流）
3学期（紙面交流）